

長谷川くみ子 レポート

〒252-0303 <事務所>相模原市南区相模大野 6-16-23 ヤマニビル 202
TEL: 042-705-2951 FAX: 042-746-1961
E-mail: haseandk@nifty.com http://hasekumi.com



つくろう！新しい選択肢 相模原 vol 6

9月議会報告

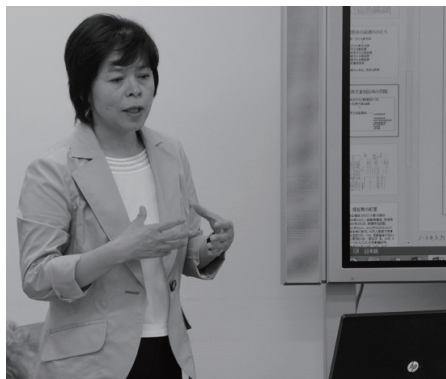
颯爽の会ニュース

相模原市にもブラックボックス？

費用も事業規模も不透明な広域交流拠点事業

橋本駅にリニア中央新幹線途中駅ができる事に合わせるように、橋本駅からJR相模原駅までの区間を、横浜線の連続立体交差とする一などの事業を含む、「両駅を一体的に」区画整理事業などの「整備開発する」広域交流拠点整備計画が出ています。区画整理と道路関連事業だけで600億円と市が言っている大規模な事業です。

7月から9月に2回の市民説明会とパブリックコメントが行われましたが、南区では、市民説明会が開かれなかった



毎議会ごとに市政報告会を行っています。

ことや、途中で質問を打ち切るなど、十分な説明とは言えないものでした。

パブリックコメントには、640件の意見が寄せられましたが、計画には反映されていません。

私は代表質問で、鉄道事業者が駅舎移転や立体交差事業を行う場合と、白紙の場合の、其々の総事業費見込み、事業規模、その内容、を示し、説明と意見聴取を改めて行うことを求め質問しました。

しかし市は「連続立体交差や、駅舎移転を踏まえた将来像計画に向け、関係機関との協議・調整に取り組む」「今後大規模事業評価や都市計画説明会などで事業費を示し、意見を聞く機会を設けていく」と、他に選

勢と、強引な答弁に終始しました。

また、コンサルタント業者に委託発注され、策定される調査報告や設計書などを議会にも置いて、その都度報告もすることを求めました。

しかし、「大規模事業評価や都市計画決定手続きの段階で委託成果を踏まえた内容を明らかにしていく」と情報公開と報告には一転消極的です。

昨年度1億4千万円、今年も9月補正で6800万円とコンサルタント業者やUR（独立行政法人都市機構）への委託事業は毎年かさみます。これらの成果品は市民にも議会にも当然報告されるべき公文書です。計画を見ればわかるものではありません。

(ウラへ)